

Vol.16 No.2 '93

1994年1月30日 発行 目次

Streptozocine負荷ラットの小腸絨毛の計測5	
埼玉医科大学 第3内科 勝 健一 他	
胃切除後の小腸粘膜、特に絨毛の形態学的変化に関する実験的研究9	
東京大学 第3外科 沈 秀明 他	
CCK受容体拮抗剤が小腸粘膜の動態に及ぼす影響について14	
京都府立医科大学 第3内科 頼住 一 他	
ラット空腸の絨毛ならびに吸収細胞の形態に及ぼす抗生物質経口投与の影響19	
日本女子大学 家政学部 杉山みち子 他	
経口PSP吸収試験に関する検討(第2報)24	
防衛医科大学校 第2内科 笹木淳司 他	
糞便中の分泌型IgA測定の臨床的意義—レンズマメレクチン結合性分泌型IgAを含めて—28	
大阪医科大学 第2内科 杉 和憲 他	
蛋白漏出性胃腸症におけるα 1-antitrypsin clearance 試験と^{99m}Tc 標識アルブミン蛋白漏出試験の比較検討34	
久留米大学 第2内科 窪山信一 他	
エイコサペンタエン酸の腸管膜透過性に対する効果の検討39	
東京医科大学 第4内科 清水直樹 他	
ラット小腸におけるウルソデオキシコール酸およびそのタウリン抱合体の吸収43	
帝京大学 第1内科 横手美智子 他	
糖尿ラットに於ける高コレステロール血漿—コレステロール吸収の面から—47	
塩野義製薬 診断医学部 内田清久 他	
胆汁酸— 脂質混合ミセル溶液からのコレステロール吸収における律速段階について51	
塩野義製薬研究所 市橋輝久 他	
老年者におけるカルシウム製剤の胃内溶解性に関する検討54	
弘前大学 第3内科 工藤研二 他	
脂質移送能を指標にした虚血再灌流後の小腸粘膜障害58	
佐賀医科大学 消化器内科 森田秀祐 他	
ラット腸管のI-FABP濃度と、脂肪含有量の異なる食餌摂取に対するI-FABP濃度の変動61	
新潟大学 第1外科 村上博史 他	
長鎖脂肪酸吸収時の腸管リンパへの免疫グロブリン分泌について66	
慶應義塾大学 内科 今枝博之 他	
脂肪吸収と小腸粘膜固有層70	

中村学園大学大学院 栄養形態 山元寅男	
実験的炎症性腸疾患モデルラットの基礎的検討	74
森下ルセル(株)総合研究所 乾 賢一 他	
炎症性腸疾患モデルにおける成分栄養剤の発症および進展抑制効果	78
味の素株式会社 中央研究所 惣中一郎 他	
クローン病患者における血中タウリン濃度の検討	82
兵庫医科大学 第4内科 小坂 正 他	
潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘術後の貧血	87
横浜市立大学 第2外科 金谷 洋 他	
長期在宅経腸栄養の問題点	91
金沢大学 第2外科 坂本浩也 他	
小腸上皮細胞におけるカチオン(Na⁺、H⁺)依存性栄養素吸収に伴う細胞内pHの変化	94
静岡県立大学食品栄養科学部 生理 林 久由 他	
難溶性カルシウム塩のpH依存性解離特性とそのCa²⁺の腸管吸収との関連	99
静岡県立大学食品栄養科学部 生理 丸山美智子 他	
加齢ラットにおける小腸微小環境pHの検討	103
浜松医科大学 第1内科 伊熊睦博 他	
食品由来のペプチドによる腸液分泌効果	107
静岡県立大学食品栄養科学部 鈴木裕一	
小腸広範囲切除におけるEnteroglucagonとアミノ酸吸収の検討	111
日本大学 第3外科 中田泰彦 他	
遠位小腸切除後の二糖類分解酵素活性の変動	116
東京医科歯科大学 第2外科 吉永圭吾 他	
腸内細菌のアンモニア産生と難消化性三糖類(ラクトスクロース)の相互作用	120
大塚製薬(株)佐賀研究所 藤井康弘 他	
1,2-dimethylhydrazine (DMH) 誘発大腸癌の発生に及ぼす	
ラクトスクロース(4α-β -D-Galactosylsucrose)の抑制効果	124
大阪市立大学 生活科学部 栄養生理 小島明子 他	
マウス小腸粘膜二糖類分解酵素活性に対する腸内フローラの影響	129
ヤクルト中央研究所 梅崎良則	
ビタミンK欠乏時の血中PIVKA-IIにおよぼす抗結核剤の影響	132
東京女子医科大学 消化器病センター 石井 史 他	
ビタミンB₁₂結合物質の小腸における分布	136
京都通信病院 内科 稲田雅美 他	
遠位回腸における未吸収の糖質の腸外分泌機能に及ぼす影響	140

弘前大学 第1内科 品川博樹 他	
食事負荷試験による慢性膵炎患者の管腔内消化吸收過程の分析	143
弘前大学 第3内科 山田尚子 他	
慢性膵炎患者における食後上部小腸内pH変動の分析	147
弘前大学 第3内科 荒井雄樹 他	
固形食摂取による膵アミラーゼの増大	151
静岡県立大学 食品栄養科学部栄養生理 合田敏尚 他	
微生物リパーゼの蛋白による阻害は酸性プロテアーゼによって防御される	155
天野製薬 中央研究所 仲 恭寛	
高カロリー投与による耐糖能異常を伴う肥満ラットの作成	159
産業医科大学 第3内科 秋山俊治 他	

あとがき

本号には、第24 回日本消化吸収学会総会(会長:杏林大学内科 青柳利雄教授)において発表された一般演題38題の原著が掲載されている。

消化吸収は、60兆個にも及ぶ体細胞にエネルギー源を供給する重要な機能であり、数多くの因子が関与している。したがって、研究内容も基礎と臨床面においておのずと拡がってゆく。

消化吸収に関する研究は、生理的・生化学的手法による研究が主であり、まだ遺伝子レベルでの研究には至っていないものの、着実に新しい展開をしている。

38 論文のそれぞれは、内究は異なるものの、オリジナリティーの高いものである。

ところで、わが国は、今、“変革の時代”のようで、政治・経済ばかりでなく、気象までも異常となり、さまざまな課題を残しながら、1993年も暮れようとしています。

本誌が発刊されるのは、1994年のはじめになるようですが、先生方の立派な研究成果がどんどんと投稿され、本誌が一層充実し、名実ともに、消化吸収に関する研究の情報発信基地になることを期待しています。先生方のご協力をお願いいたします。

(T・B)